

ICO Market Research Q1 2018



主たる連絡先 :

Mikhail Mironov
パートナーシップ責任者
+31 6 83624781
mikhail@icorating.com
アムステルダム



2次連絡先 :

Steven Campbell
セールス&パートナーシップ
マネジャー
+1 646 943 0806
steven.campbell@icorating.com
ニューヨーク



ICORATING

The Rating Agency for the ICO Market

About the Company

ICO Rating は、ICO プロジェクトについて、独立し、どこにも属さない分析を行い、詳細に評価し、投資格付を付与するグローバルマーケットリーダーです。

私たちは、資金と透明な ICO を結びつけるため、市場に透明性をもたらし、投資家に十分な情報と合理的な決定を下す手段を提供することを目指しています。

私たちのチームには、ヘッジファンド、大手投資銀行、主要コンサルタントグループ、ベンチャーファンドなどで平均6年以上の経験を有するアナリストが50人以上在籍しています。

この多様なスキルと経験を組み合わせた2年間のICO市場分析により、弊社独自の多専門的アプローチを開発することができました。私たちは2016年9月に事業を開始して以来、個人および機関投資家向けに300以上のICOプロジェクトを評価して参りました。

20億ドルの資金に結びつく20以上の仮想通貨中心のファンドは、私たちが分析したICOプロジェクトを特集した週刊ニュースレターを定期的に受け取っています。どのICOプロジェクトに、より詳細な分析を行うための社内のアナリストを配置するかを判断するために、これらのファンドは、私たちの分析を利用します。私たちの詳細で偏見のないレポートは、ICOプロジェクトの技術要件、ビジネスモデルとトークンの価値、チーム、その他の重要な要素を評価しています。

50+

社内
アナリスト数

≈300

審査及び格付けした
プロジェクト数

20+

仮想通貨
ファンド数

\$20億+

仮想通貨ファンドの
運用総額

Welcome Message

2018年第1四半期のレポートは、ICOの世界で最も顕著な傾向に焦点を当てています。読者に業界の発展における最新の傾向をより深く理解してもらうために、市場に関する情報を広く深くお伝えしたいと思います。

格付機関の観点からは、業界のダイナミックな発展に注目していますが、市場はまだ初期の発展段階にあります。相当数のプロジェクトは、依然ビジネスモデルとトークン価値の見込み違いをしています。最も重要なのは、消費者が期待する様な分析に近く、大変主観的なものになっていることです。

今後の発展シナリオを予測するのに見かけだけのアプローチを取っているプロジェクトチームも見受けられます。多くのチームは、必要性や立ち上げのビジネスモデルに対するトークンの妥当性を無視しています。同様の状況は、事業経営を基本としたプロジェクトでも見られます。

従来型のビジネスを持って、製品とブロックチェーンの使用を必ずしも排除するわけではありませんが、時には起業家の認識の中でいくつかの不一致が生じることがあります。このような観点から、直近四半期の市場は、2017年の後半と若干異なっています。

ファンドの役割の変化と規制当局の業界への関心が大幅に膨らんでいる事を見過ごすことはできません。

2018年の市場の主要な傾向は、機関投資家のシェアが急増し、個人投資家の数が減少していることです。これにより実際に、プロジェクトの要件が増大し、プロジェクトと投資資金がうまく一致するか次第で資金がICO期間中に集められる状況となっています。

目次

ICO 市場レビュー	9 — 16
トークンとプロダクト	17 — 24
ICO を行う企業の業種レビュー	24 — 30
各国の ICO	31 — 34
ICO 後のパフォーマンス	35 — 37
仮想通貨系ファンド	38 — 40
見通しとコメント	41

第1四半期レビュー

3,331,005,381 ドル

上記の金額は、412のプロジェクトにより第1四半期に調達された資金のトータルですが、2017年の第4四半期に調達された資金は3,145,410,005ドルでした。この様に、2018年第1四半期は5%の伸びとなりました。昨年はICOで総額6,184,529,460のドルの資金が調達されました。四半期の投資総額のうち、2018年に完了/終了した調達資金のみが考慮されています。2017年に開催されたプレセールスは考慮されていません。

半数のみ

ICOプロジェクトの半数のみしか100,000ドル以上を集めることはできませんでした。

これもあって、3月中の資金調達額は1月、2月と比較して半減しました。

一般向け資金調達は、機関投資家の資金流入から大幅に遅れてスタートしています。

例えば、Telegramプロジェクト（TON）の投資額（統計には含まれていない）は、17億ドルまで積みあがりました。

これは、四半期全体の結果と比較して、過去3ヶ月間の資金調達額の半分以上に匹敵します。

第1四半期レビュー

30日 → 2ヶ月

資金調達キャンペーンの平均期間は、昨年の平均と比べると、30日から2ヶ月に伸びています。

しかし、直近四半期の上位20のICOの資金調達率を考えると、ICOの初日に販売を終了するプロジェクトはまだあります。

例えば、Zeepin、Neuromation、Arcblockなどです。

合法性の問題

現在、ICOを計画しているプロジェクトの多くが、キャンペーンの合法性に問題を抱えています。

法的問題は2018年初めのホットな話題です。

にもかかわらず、2018年第1四半期におけるプロジェクトの1/4(412の内109のプロジェクト)は、ICO時に法的な組織を持ちあわせていません。

反対に2017年では、プロジェクトの24%が法的な組織を有していました。これは言うまでもなく、潜在投資家にとってプロジェクトがより透明性を持つ歓迎すべき傾向です。

第1四半期レビュー

取引所、金融サービス、ゲーム、 ブロックチェーン・インフラ

ICOの開催を決定するプロジェクトで最も多く見られる業界です。取引所、ブロックチェーン・インフラストラクチャー、金融サービスは、資金調達額でもトップ業種です。興味深いのは、2017年に比べて最も多く見れる業種に変化がないことです。ブロックチェーンや金融サービス、ゲーム&VR、および取引所とウォレットがそれに該当します。

46.6%

のプロジェクトが、ICO販売前に
事業展開がなかった(第1四半期内の総プロジェクト総数中の割合)。
これは、業界全体にとってマイナス要因です。

9%

の企業がICO前に事業展開していたプロジェクトです。
これは、経営者が企業のトークン化に興味を持っている
ことを示しています。

第1四半期レビュー

278 億ドル

の金額が、119の仮想通貨系ファンドを運用するために集められました。

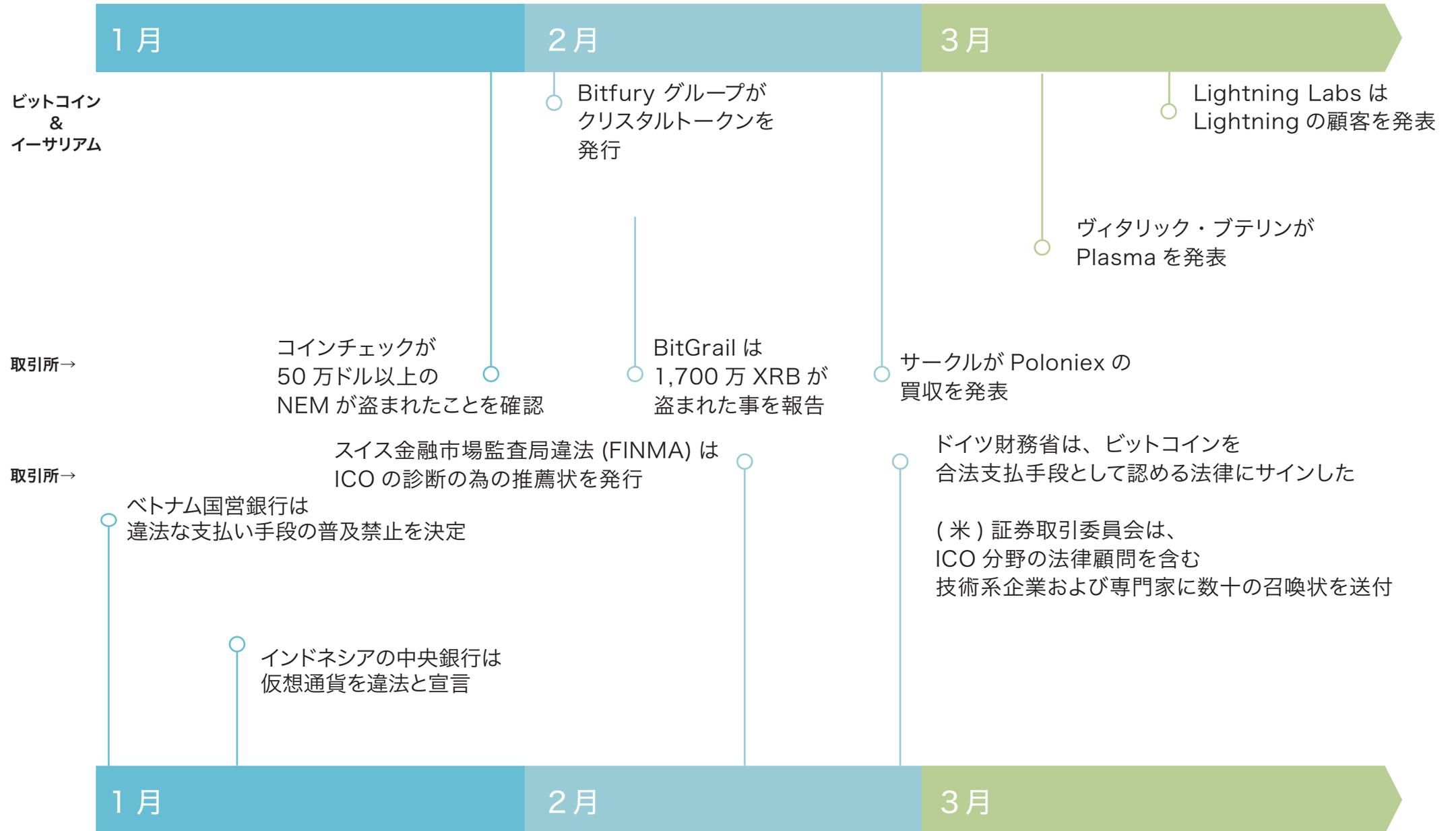
それらのファンドは**透明性が低い**ことが分かっています。

運用資金の40%は、運用戦略やCEOの名前すら情報を公開していません。

2018年の第1四半期には、9つのファンドが封鎖されたというニュースもありました(それらの中には、Crowd Crypto FundとAlpha Protocolあり)。

ICO市場 レビュー

2018年第1四半期の主要イベント



2018年第1四半期の主要イベント

第1四半期には、一般の人々の強い関心が取引所向けられました。

取引所へのハッカーの攻撃という問題について、多くの専門家による予想は的確でした。

6億7,000万ドル

保守的な見通しは、四半期中に崩れました（為替レートの変動に合わせて調整するも）

ICO の主な特徴

この図は、それらの関係を示しています：
2018 年第 1 四半期に終了したプロジェクト総数、
ICO 期間中に少なくとも 10 万ドルを集めたプロジェクト数、
ICO 後取引所に上場したトークンの数

412

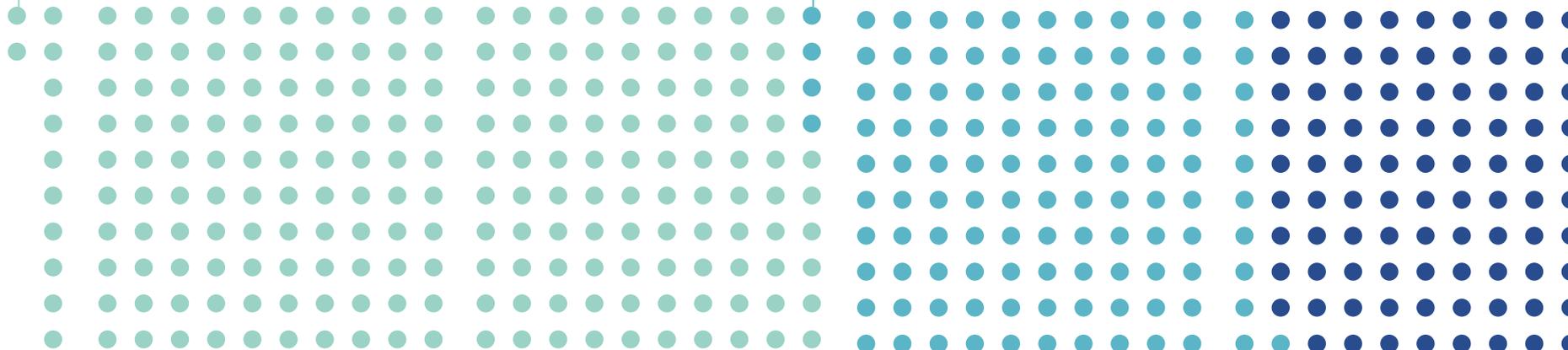
2018 年第 1 四半期で
開催された ICO

204

10 万ドル以上
調達したプロジェクト数

89

取引所に上場できたトークン数。
付与されたトークンを売買するのに
ICO 終了後平均 21 日を要する



成功したプロジェクトの数と それらの調達資金

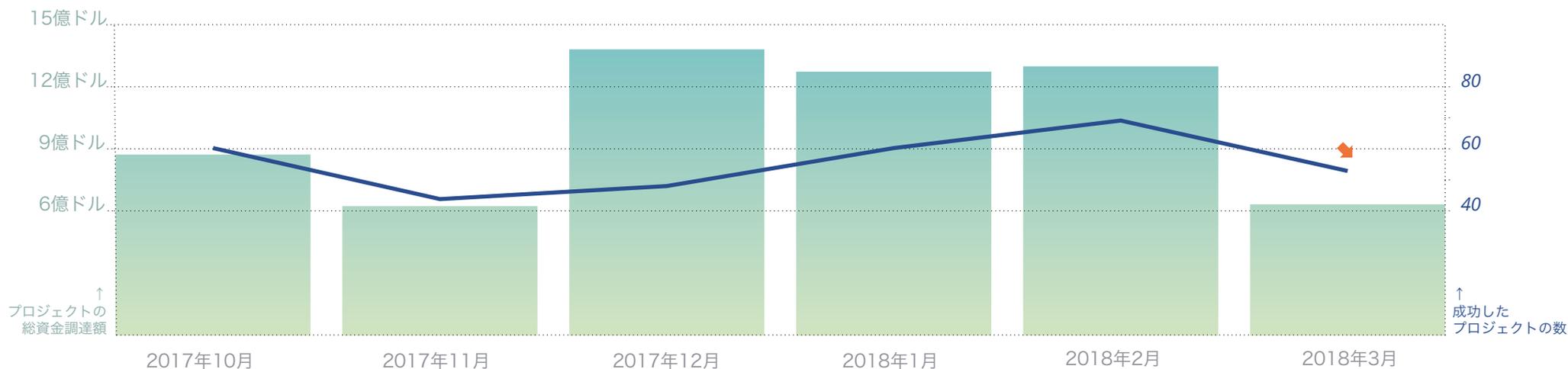
グラフの見方

グラフは、月次ベースで ICO 期間中プロジェクトが調達した資金総額と、成功したプロジェクトの月次の数との関係を示しています。

プロジェクトが成功したと見なされる定義：
ソフトキャップが達成された場合、またはソフトキャップがない場合にはプロジェクトが 50 万ドル以上調達した場合とする

主に市場の調整が入ったことから、（1月の8,300億ドルから4月初旬には2,580億ドルへ時価総額が下落）1月、2月と比較すると、3月の平均資金調達額は2倍も落ちました。そして、3月も引き続きプロジェクトのハードキャップの引下げの影響を受け、軟調でした。

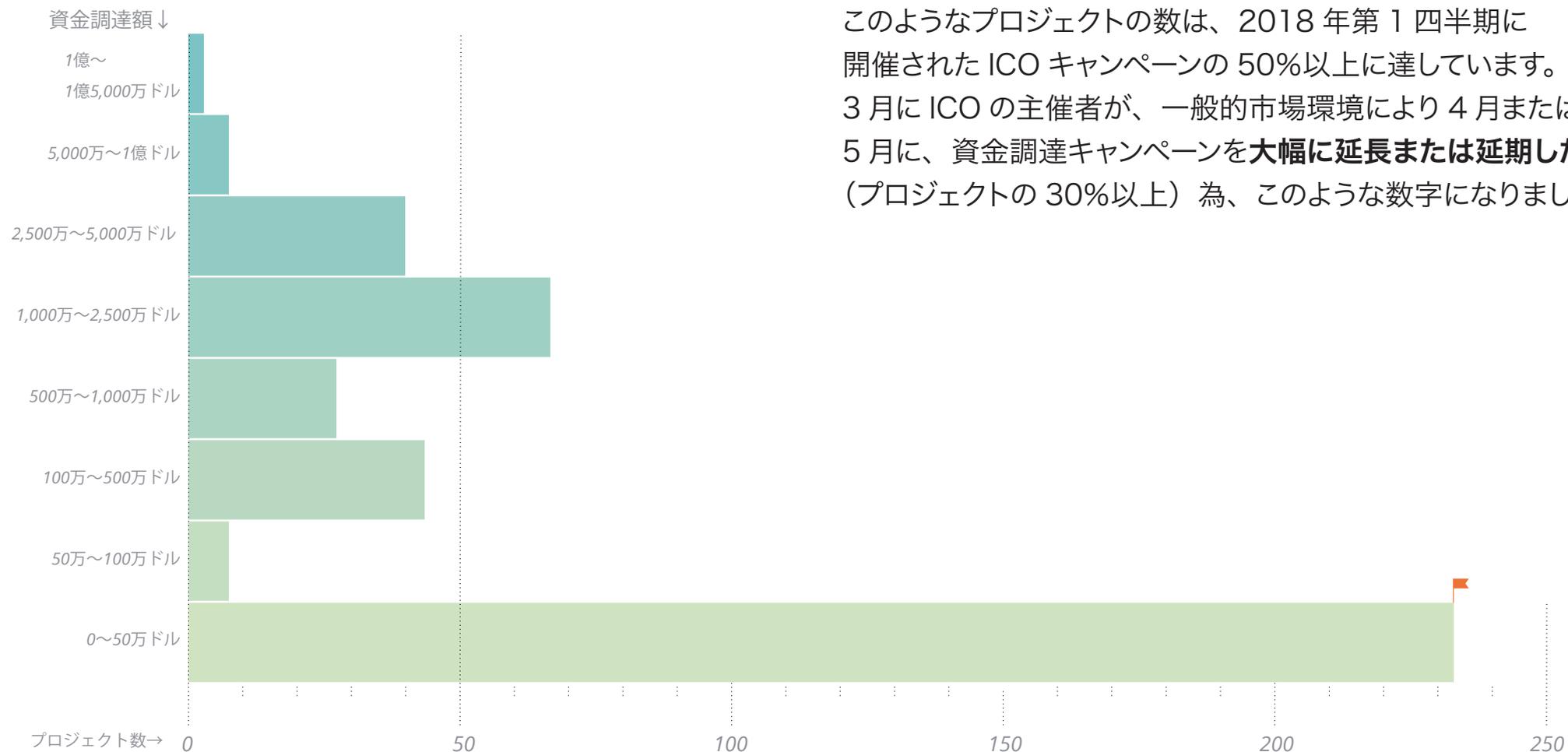
2月に2,250万ドルであったハードキャップの中央値は、3月には1,400万ドルまで落ちました。



ICO 資金調達額の全容

グラフの見方

グラフは、資金調達額毎のICO キャンペーンの分布を示しています。



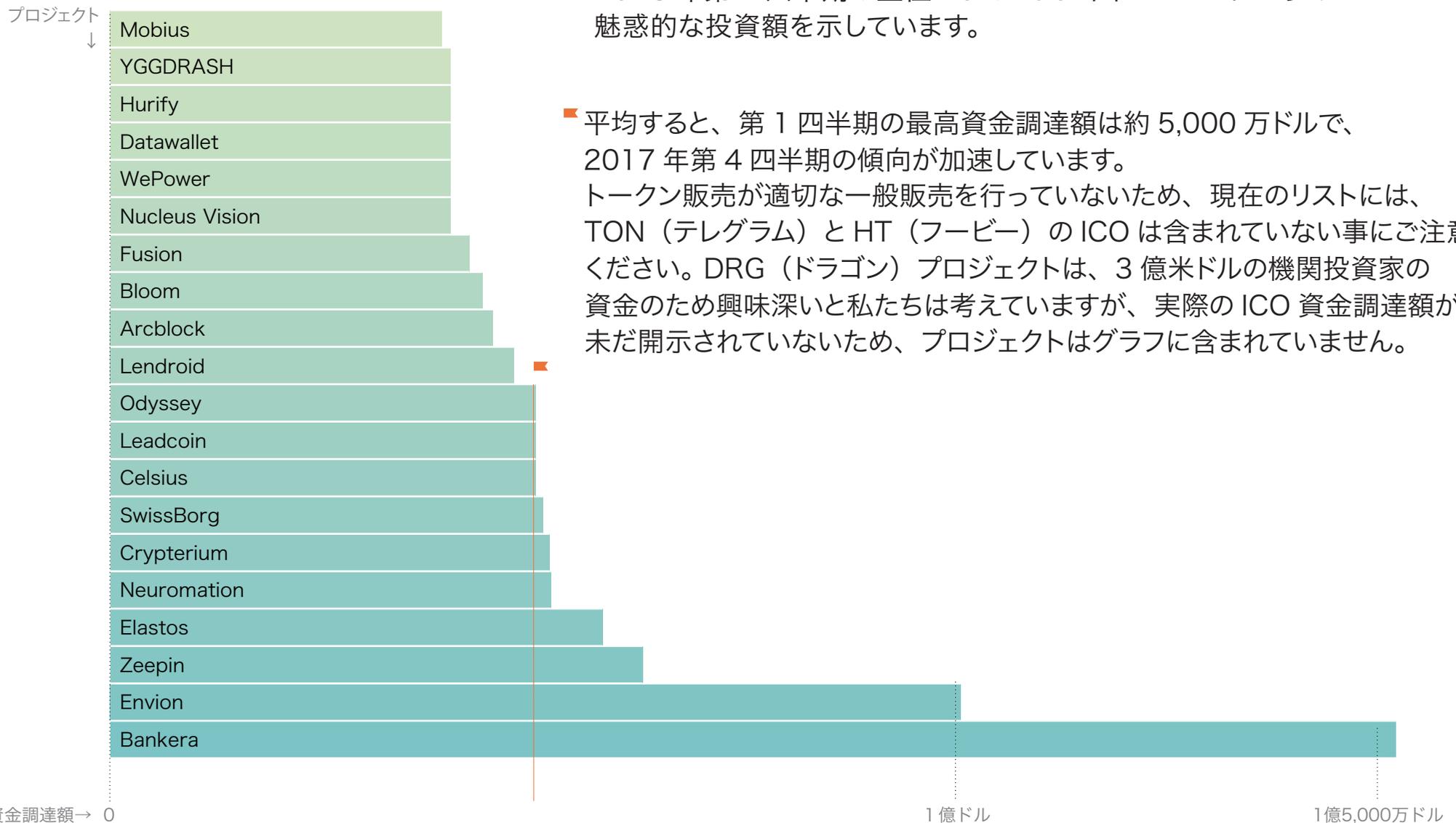
- 2018年第1四半期に行われたICOで殆どのプロジェクトが50万ドル以下の資金調達に留まりました。
このようなプロジェクトの数は、2018年第1四半期に開催されたICOキャンペーンの50%以上に達しています。3月にICOの主催者が、一般的市場環境により4月または5月に、資金調達キャンペーンを大幅に延長または延期した(プロジェクトの30%以上)為、このような数字になりました。

資金調達額で上位20のICOキャンペーン

グラフの見方

2018年第1四半期の上位20のICOキャンペーンにとって魅惑的な投資額を示しています。

- 平均すると、第1四半期の最高資金調達額は約5,000万ドルで、2017年第4四半期の傾向が加速しています。トークン販売が適切な一般販売を行っていないため、現在のリストには、TON（テレグラム）とHT（フービー）のICOは含まれていない事にご注意ください。DRG（ドラゴン）プロジェクトは、3億米ドルの機関投資家の資金のため興味深いと私たちは考えていますが、実際のICO資金調達額が未だ開示されていないため、プロジェクトはグラフに含まれていません。



資金調達額 → 0

1億ドル

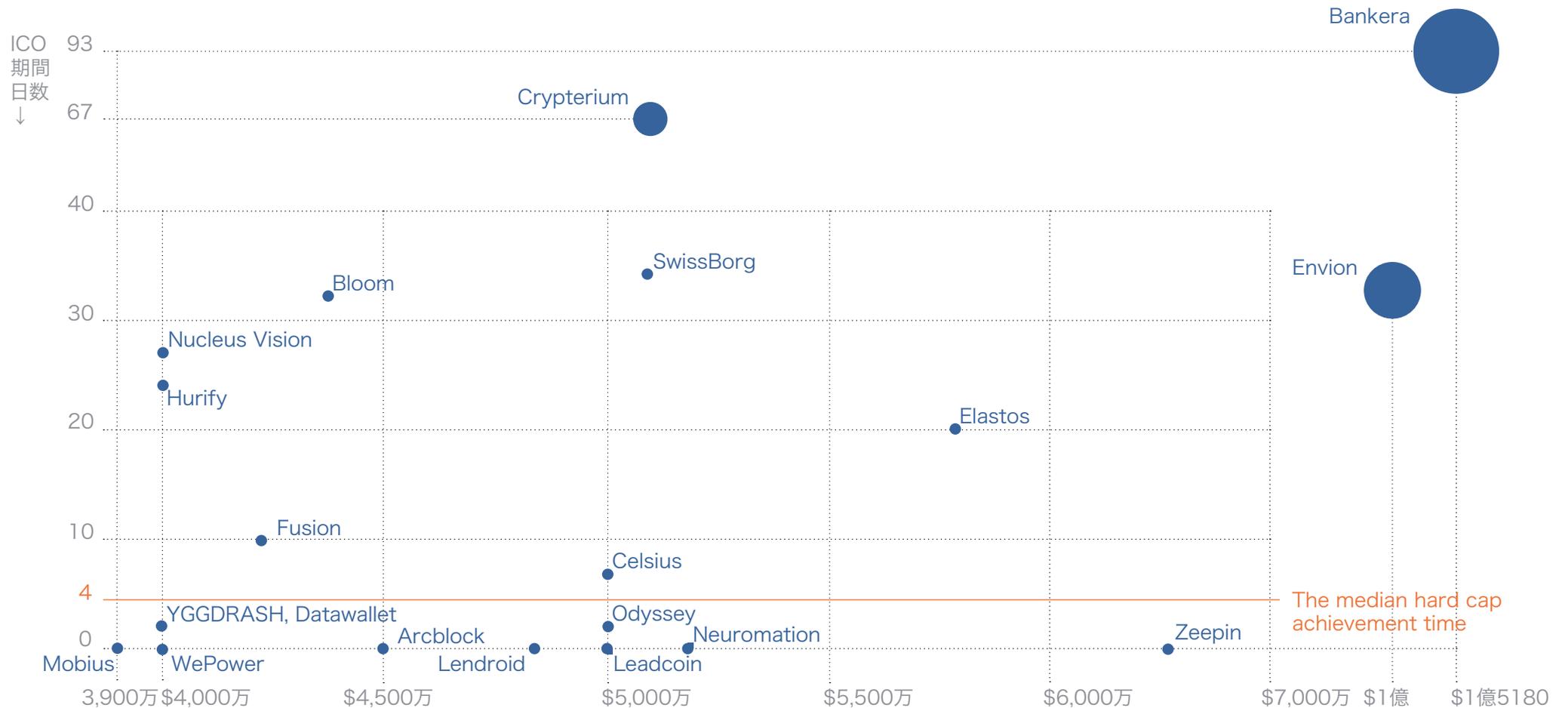
1億5,000万ドル

資金調達額で上位20のICO キャンペーン

グラフの見方

グラフは、資金調達額によりICO期間中に調達された資金と、上位20のICOのキャンペーン期間との関係を示しています。

上位20のICOの資金調達率を考慮し、業界自体の実稼働が約一年しかない状態ですが、ICOの初日に販売を終了できるプロジェクトがまだ存在すると私たちは結論づけます。



トークンと
プロダクト

トークンとプロダクト

ICOキャンペーンから統計を分析した際に、見極める事:

- A 主催者が販売を目指すトークンに与える価値と意味
- B 市場に提供される製品の開発段階
- C 既存のビジネスをトークン化する予定のプロジェクトはいくつあるか

トークンとプロダクト

2018年の第1四半期に、ICOの主催者は、以下のタイプの暗号資産を売り出しました：

投票型トークン

保有者に投票権とプロジェクト開発に影響力を授与するトークン

仮想通貨型

新たな仮想通貨
(追加で例外的な保有なしで)

セキュリティ・トークン

義務によって担保されたトークン(ここでは、配当支払、株式の受領、クレジットトークンの約束を含みます)

リワード・トークン

ネット参加者に報酬を与えるために使用される

サービス・トークン

プロジェクトサービスのための支払いに使用される内部通貨としてのトークン
(例えば、製品に損害を与えることなくETHで置き換えるように
これはプロジェクトを分析するときに明らかになります)

ハイブリッド・トークン

サービスのための支払い+実行された仕事のためのボーナス

ユーティリティ・トークン

プロトコル自体のトークンです
(実際にトークンが販売される必要があります)

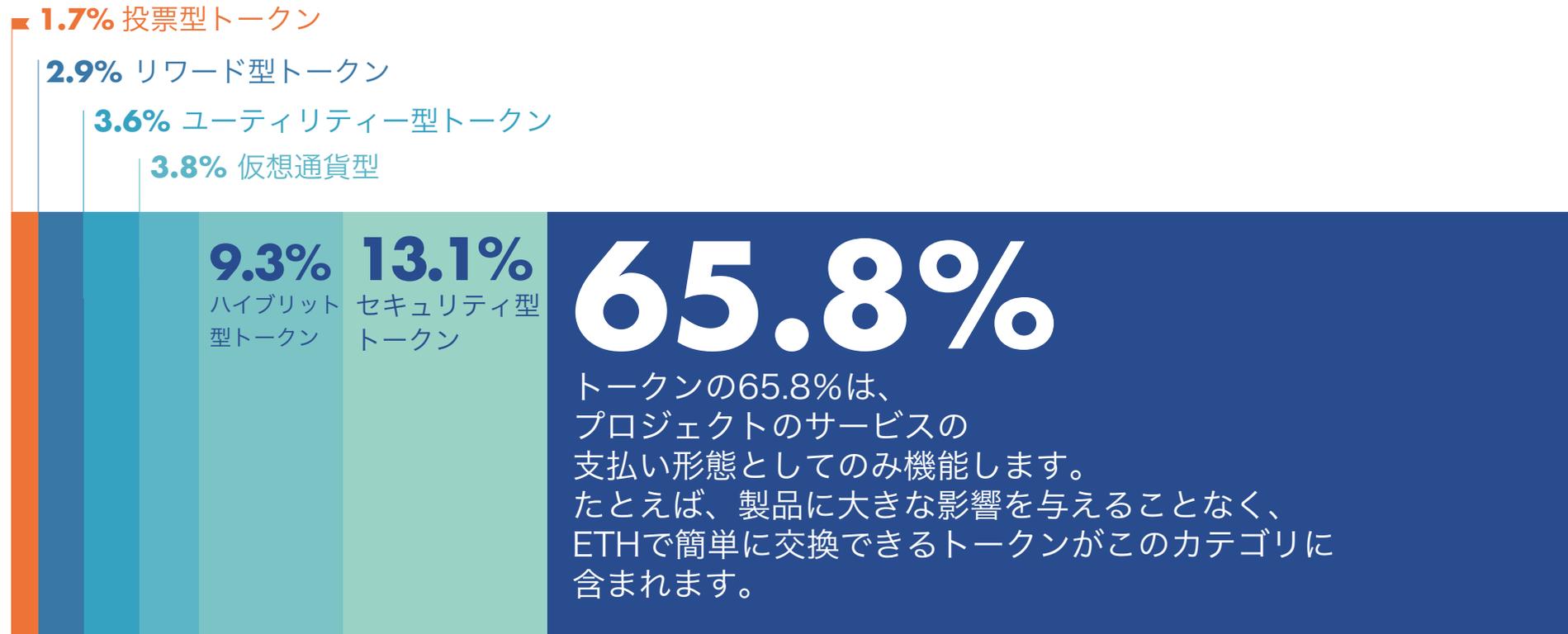
ICO プロジェクトにみるトークンのタイプ

グラフの見方

このグラフは、プロジェクトのトークンのタイプに応じて、ICO 分類するプロジェクトの分布を示しています。

商品やサービスを購入するためだけに使用できるサービス・トークンについては、複数の異なるトークンの使用による不便さ、本当に必要なトークンが欠如しているといった、いくつかの否定的な結論に達しました。これらは ICO を取り巻く誇大広告が直接的な原因です。

議決権を与えるトークン、または製品に直接影響を与えるトークンは、Q1 の ICO プロジェクトによって選ばれたトークンの中で最も人気のないタイプの 1 つでした。

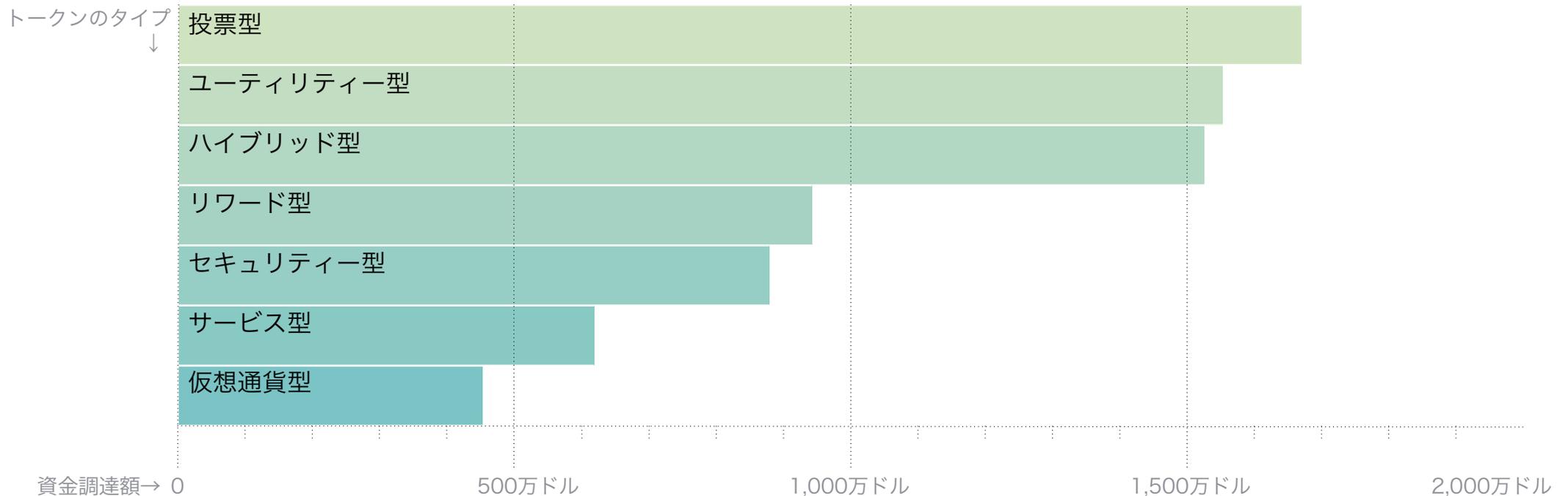


トークンのタイプ毎の ICO 資金調達額の中央値

グラフの見方

グラフは、プロジェクトのトークンのタイプに応じて ICO 期間中に集めた資金調達額の中央値の分布を示しています。

プロジェクトのトークンタイプ別に資金調達額の中央値を考えた場合、ハイブリッド・トークンまたはエコシステムの一部（ユーティリティー・トークン）としてトークンが実装されたプロジェクトが、最も収益性が高いです。ハイブリッド・トークンで 14,400,000 ドル、ユーティリティー・トークンで 10,450,000 ドルでした。セキュリティ型、サービス型、仮想通貨型のプロジェクトの資金調達額の中央値は 0 に等しいです。

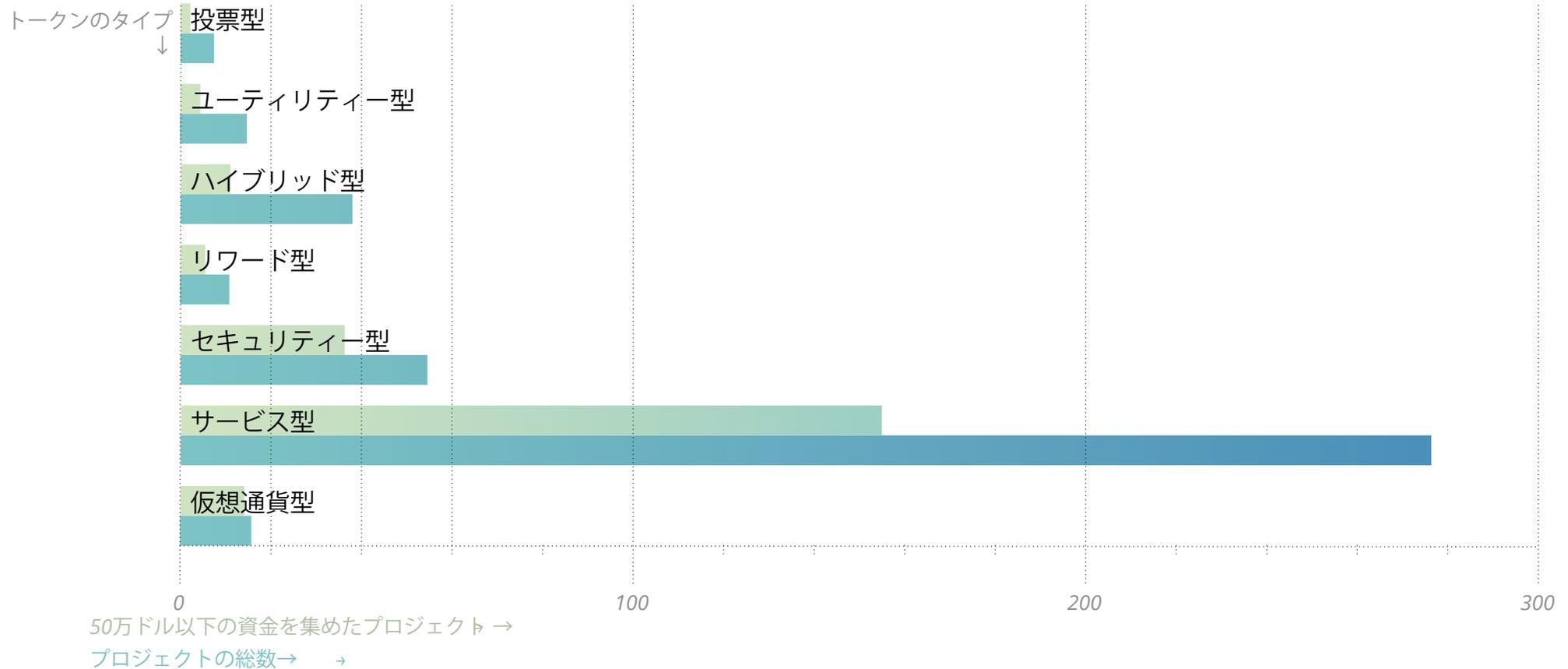


トークンタイプ毎の失敗したトークンの数

グラフの見方

このグラフは、プロジェクトのトークンのタイプに応じて失敗したプロジェクト数の分布を示しています。*

*50万ドル以下の資金しか調達できないプロジェクトを失敗したプロジェクトと見なします。



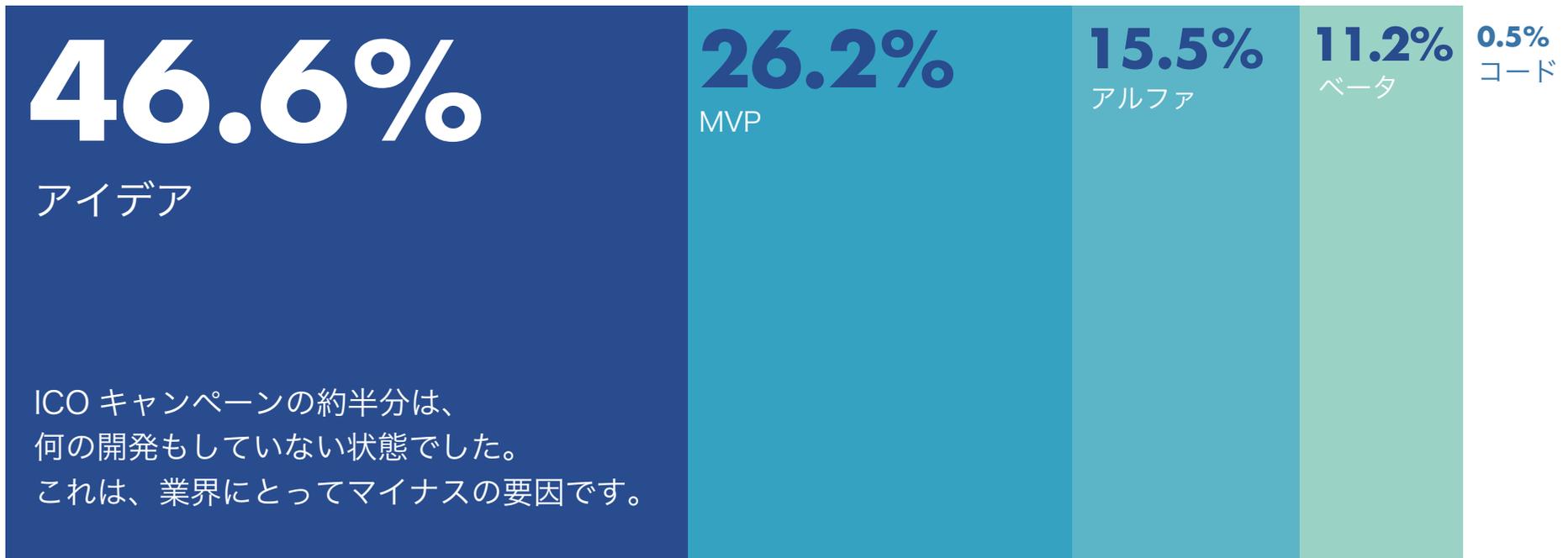
ICO プロジェクトの開発段階

グラフの見方

グラフは、ICO のスタート時に製品の開発状況によってICO を行うプロジェクトの分布を示しています*。

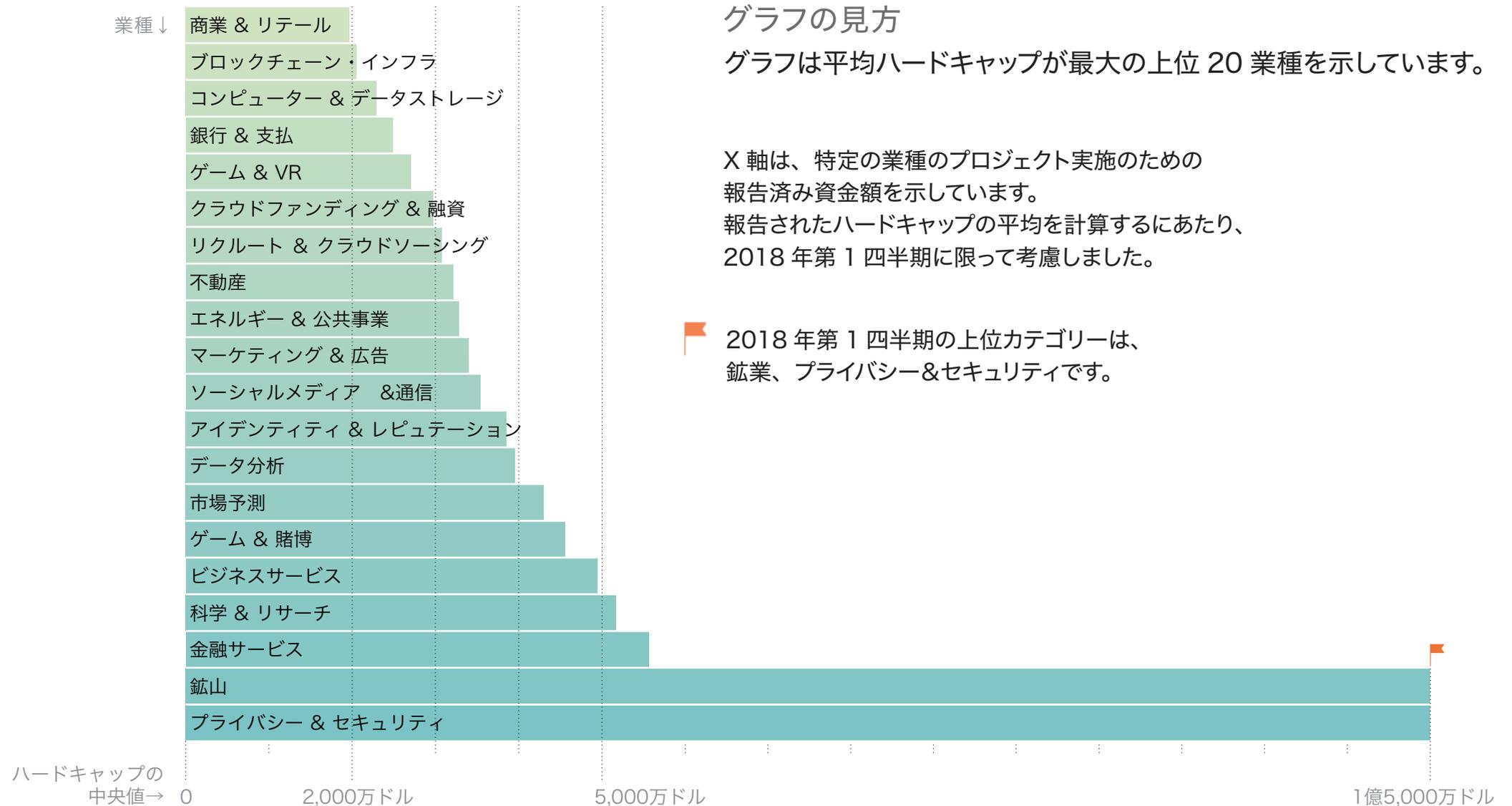
412プロジェクトのうち僅か37プロジェクトのみが、ICO前に稼働している事業を保有

*プロジェクトチームにより定義



業界レビュー

ハードキャップの中央値で分けた上位 20 のプロジェクトの業種



グラフの見方

グラフは平均ハードキャップが最大の上位 20 業種を示しています。

X 軸は、特定の業種のプロジェクト実施のための報告済み資金額を示しています。

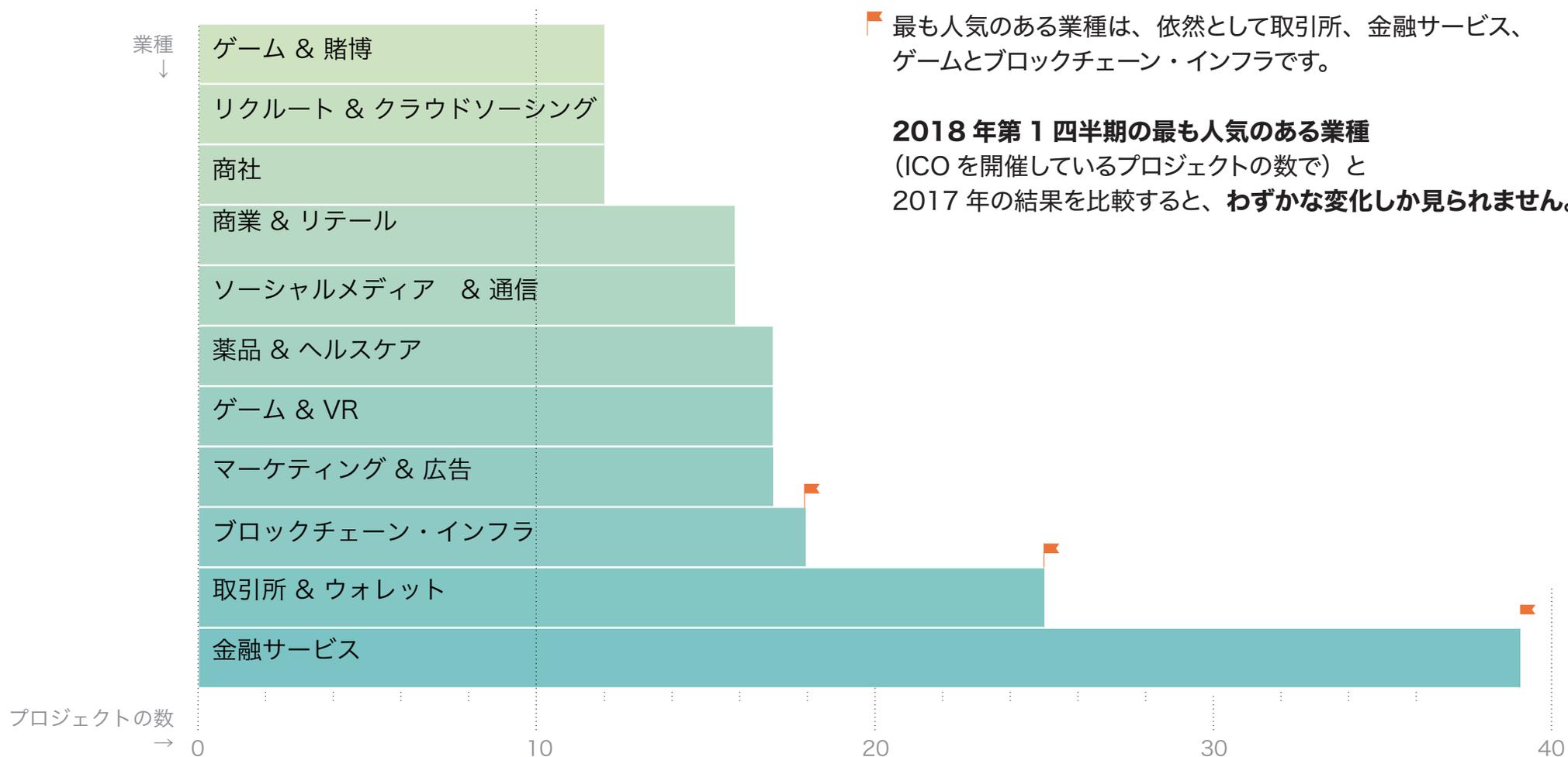
報告されたハードキャップの平均を計算するにあたり、2018 年第 1 四半期に限って考慮しました。

2018 年第 1 四半期の上位カテゴリーは、**鉱業、プライバシー&セキュリティ**です。

最も人気のある業種上位 10

グラフの見方

グラフは、これらの業種が所属するプロジェクトの数で上位 10 に入る業種を示しています。



最も人気のある業種は、依然として取引所、金融サービス、ゲームとブロックチェーン・インフラです。

2018年第1四半期の最も人気のある業種
(ICOを開催しているプロジェクトの数で) と
2017年の結果を比較すると、**わずかな変化しか見られません。**

人気の高い上位5業種

グラフの見方

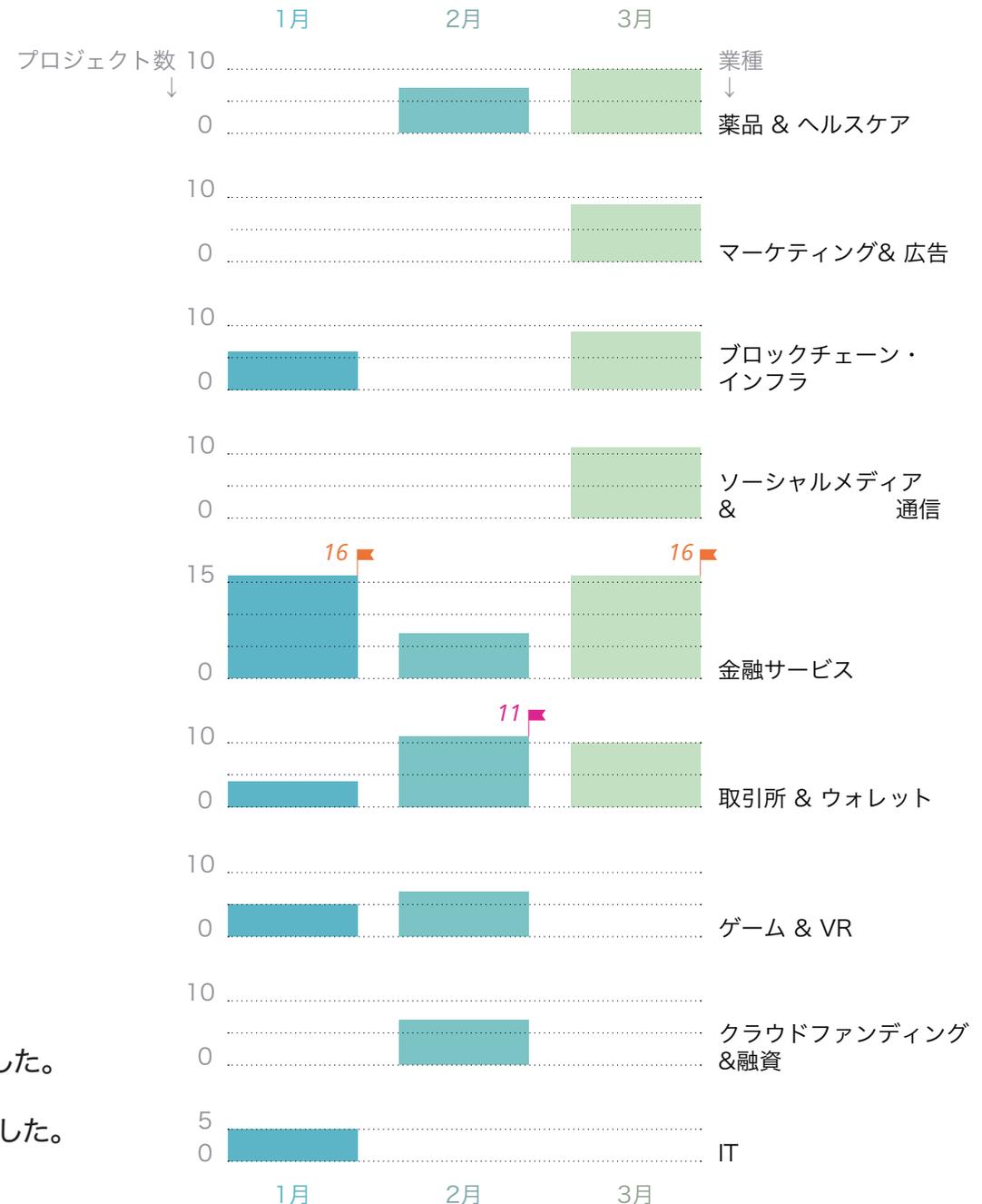
このグラフは、上位5業種の変化動向を、これらの業種に属するプロジェクト数で示しています。

一般に、金融圏からのプロジェクトがますます ICO 実施を決定していることは明らかです。

これに対し、2017年第4四半期で最も人気のある業種は、10月と11月はブロックチェーン・インフラで、12月は金融サービスでした。

🚩 1月と3月で最も多いプロジェクトは、金融・サービス業界からのものでした。

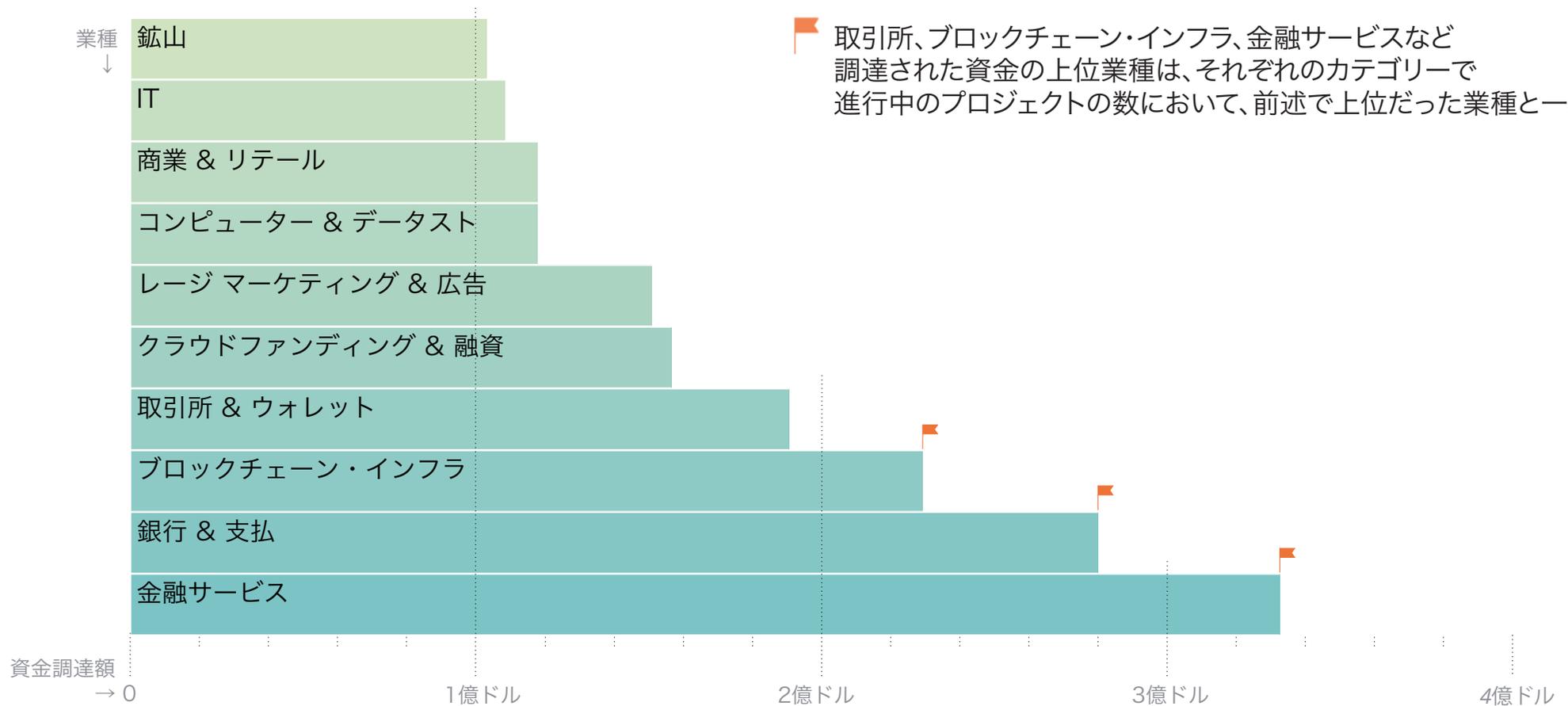
🚩 2月の最も多いプロジェクトは、取引所やウォレットに属している業種でした。



ICOプロジェクトの開発段階

グラフの見方

グラフは、上位10業種を調達金額で示したものです。

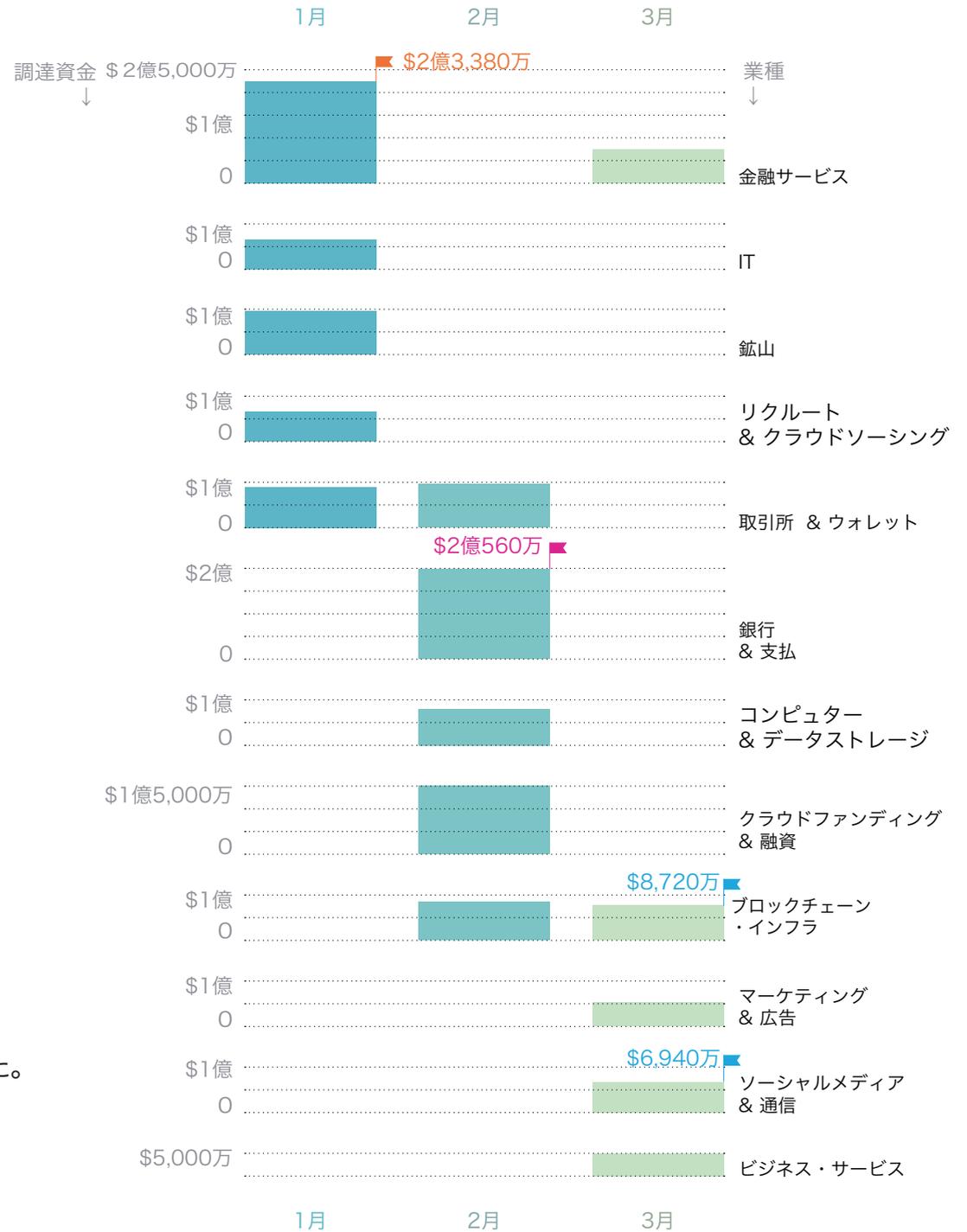


2018年第1四半期における 月次別資金調達額で見た上位5業種

グラフの見方

グラフは、これらの業種に属するプロジェクトの数別に
上位5業種の変化動向を示しています。

- ▮ 1月に調達した資金の最大額は、金融業界からのプロジェクトであったことが分かります。
- ▮ 2月には、ICOキャンペーンの上位業種は、銀行&支払でした。
- ▮ 3月の上位カテゴリは、ブロックチェーン・インフラとソーシャルメディア&通信でした。

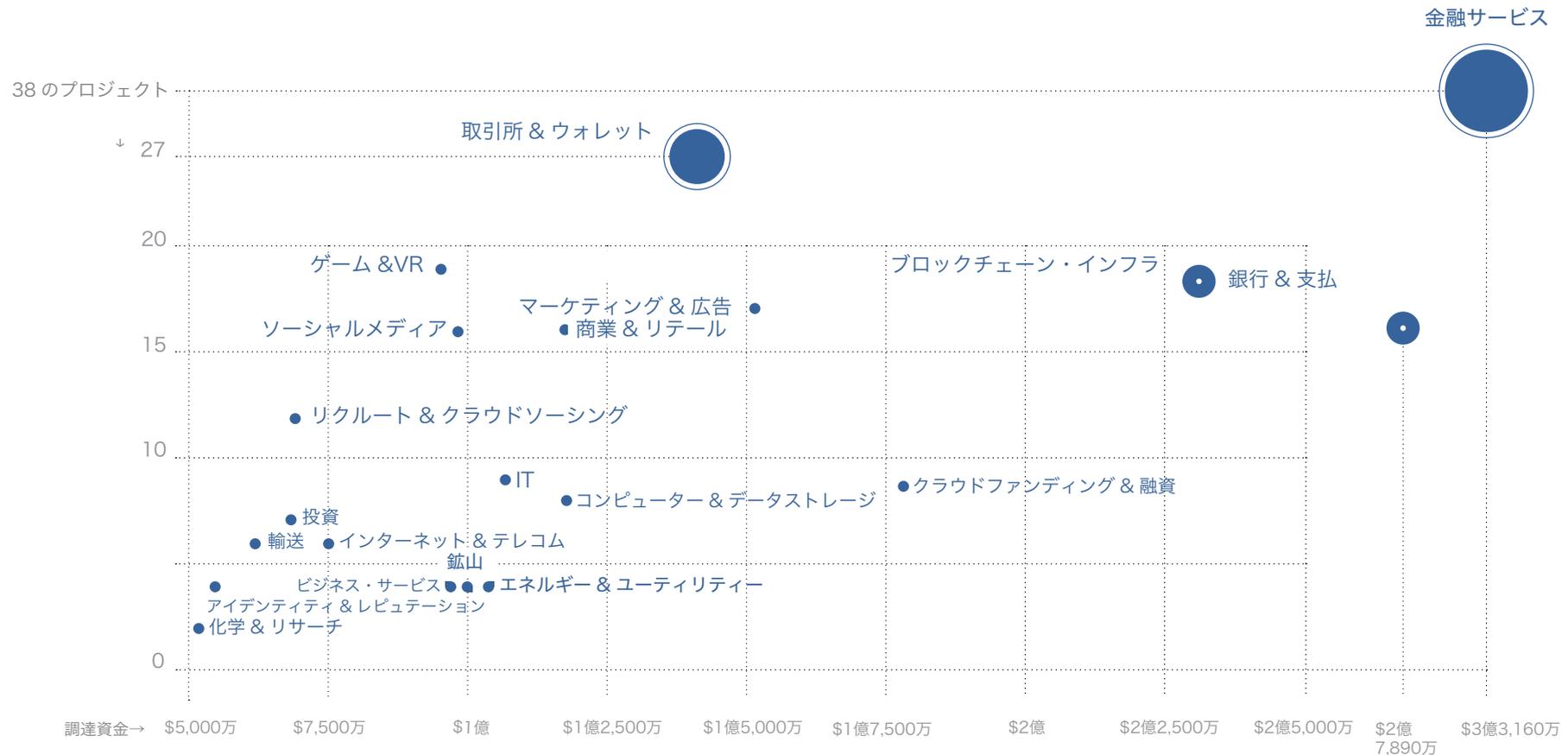


業種別プロジェクト数の分布

グラフの見方

グラフは、これらの業種が属するプロジェクト数に応じて、ICO 期間中に調達された総額によって選ばれた上位 20 業種の分布を示しています。

- 2018年の第1四半期に最も人気があり、魅力的な業種は、金融サービスと取引所&ウォレットであることが分かります。
- 銀行&支払とブロックチェーン・インフラはあまり人気はないですが、依然として多額の資金調達が行われています。



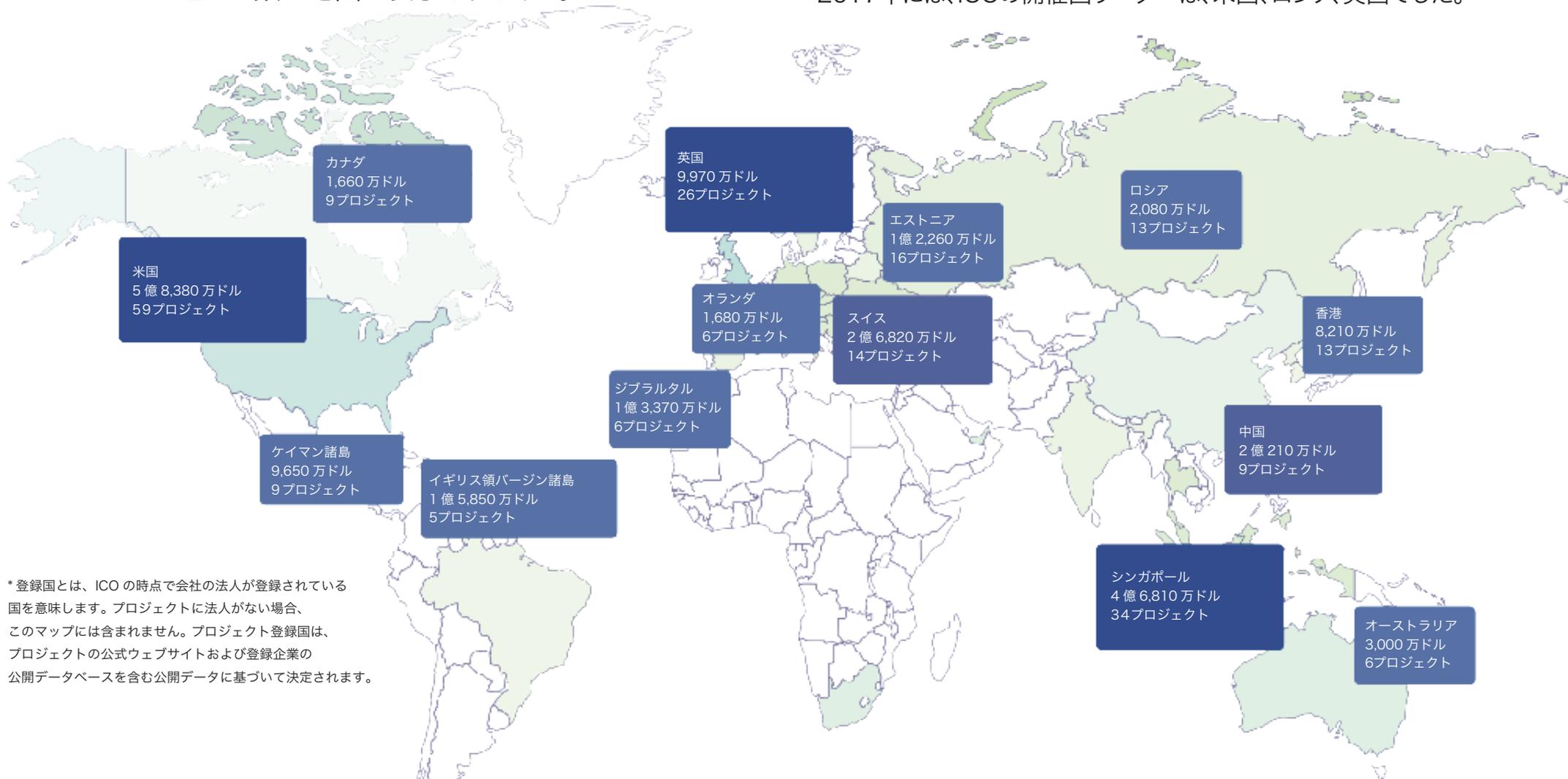
世界の ICO

プロジェクトチームの発祥地を基にしたプロジェクトの地理的分布

グラフの見方

プロジェクトの発祥国によって、総投資額とプロジェクト数が地図に表示されます*。

ICOを開催する主要国は、米国、中国、リトアニア、ロシアです。全てのプロジェクトの4分の1は多国籍チームによって構成されています。2017年には、ICOの開催国リーダーは、米国、ロシア、英国でした。



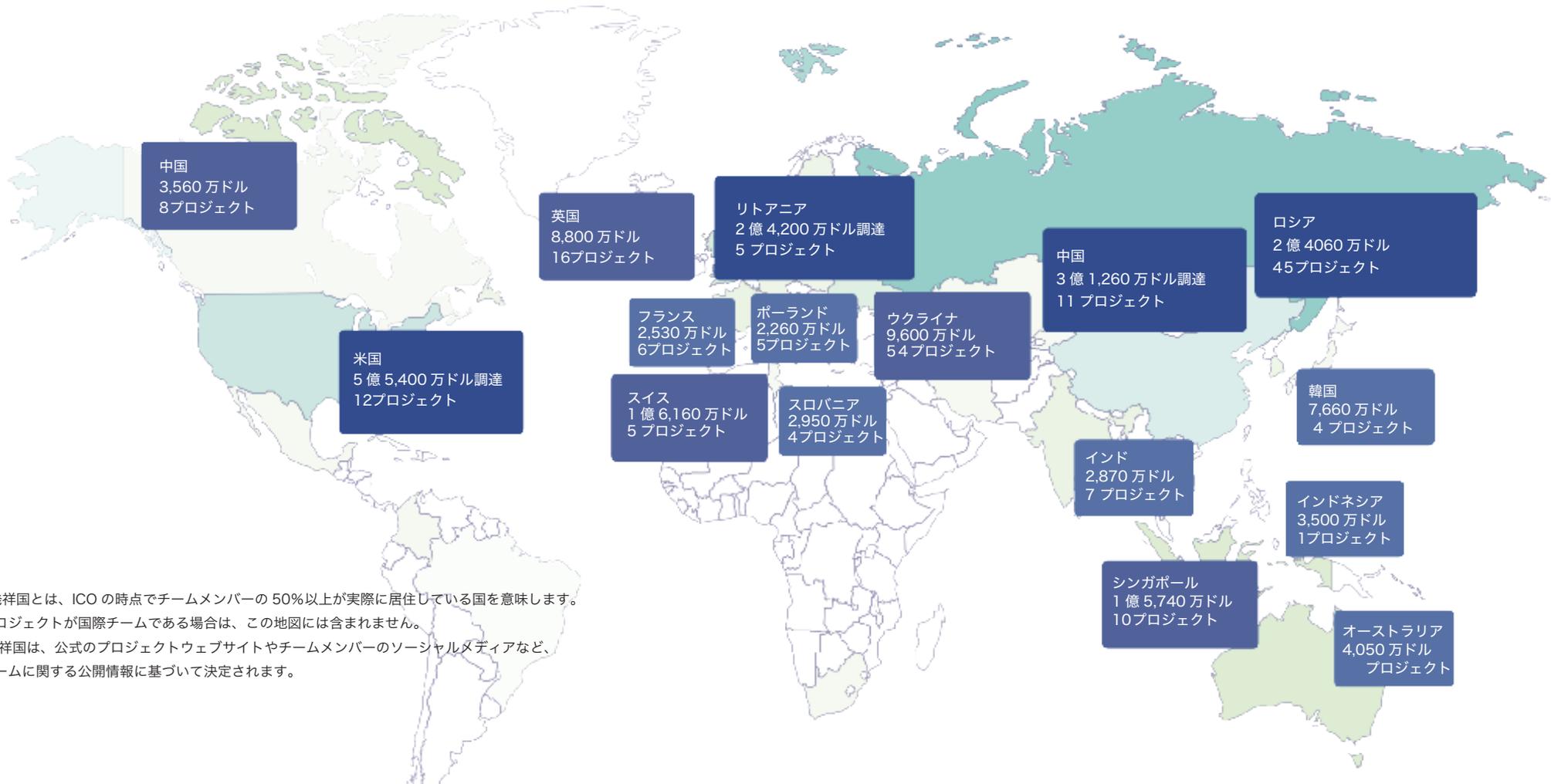
* 登録国とは、ICOの時点で会社の法人が登録されている国を意味します。プロジェクトに法人がない場合、このマップには含まれません。プロジェクト登録国は、プロジェクトの公式ウェブサイトおよび登録企業の公開データベースを含む公開データに基づいて決定されます。

調達した資金総額をパーセンテージで示した 地域プロジェクトの資金調達

グラフの見方

プロジェクトの発祥国によって、
総投資額とプロジェクト数が地図に表示されます*。

ICOを開催する主要国は、米国、中国、リトアニア、ロシアです。
全てのプロジェクトの4分の1は多国籍チームによって構成されています。
2017年には、ICOの開催国リーダーは、米国、ロシア、英国でした。



* 発祥国とは、ICO の時点でチームメンバーの 50%以上が実際に居住している国を意味します。
プロジェクトが国際チームである場合は、この地図には含まれません。
発祥国は、公式のプロジェクトウェブサイトやチームメンバーのソーシャルメディアなど、
チームに関する公開情報に基づいて決定されます。

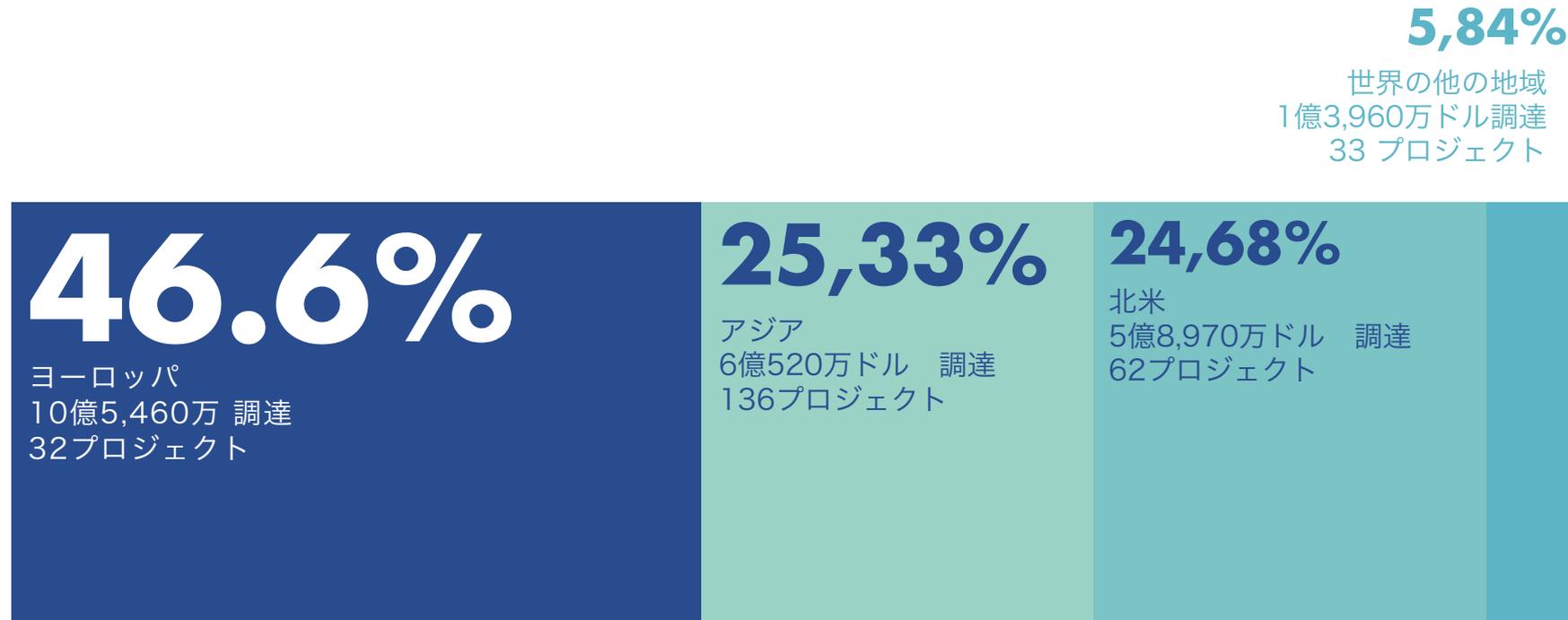
プロジェクトチームの発祥地を基にしたプロジェクトの地理的分布

グラフの見方

この地図は、プロジェクトの地域毎に、ICO 中に調達された資金の比率を示したものです。プロジェクトの地域は、プロジェクト発祥国のデータを基に決定しています。



全プロジェクトの約半分がヨーロッパ中心に資金調達されています。

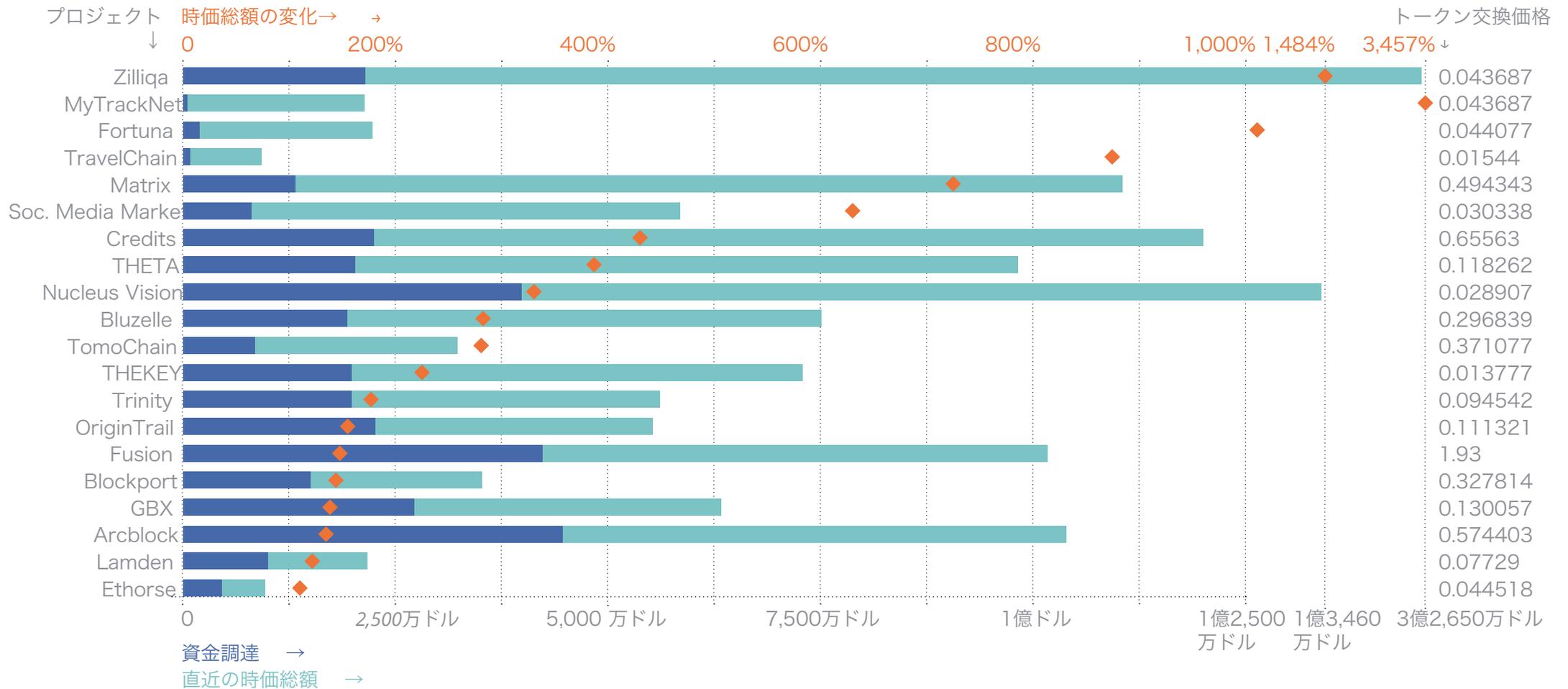


ICO後の パフォーマンス

ICO後の時価総額の伸び

グラフの見方

グラフは取引所に上場しているプロジェクトの時価総額の変化率を示しています。



調達資金で見た 2018年第1四半期のICO後のROI

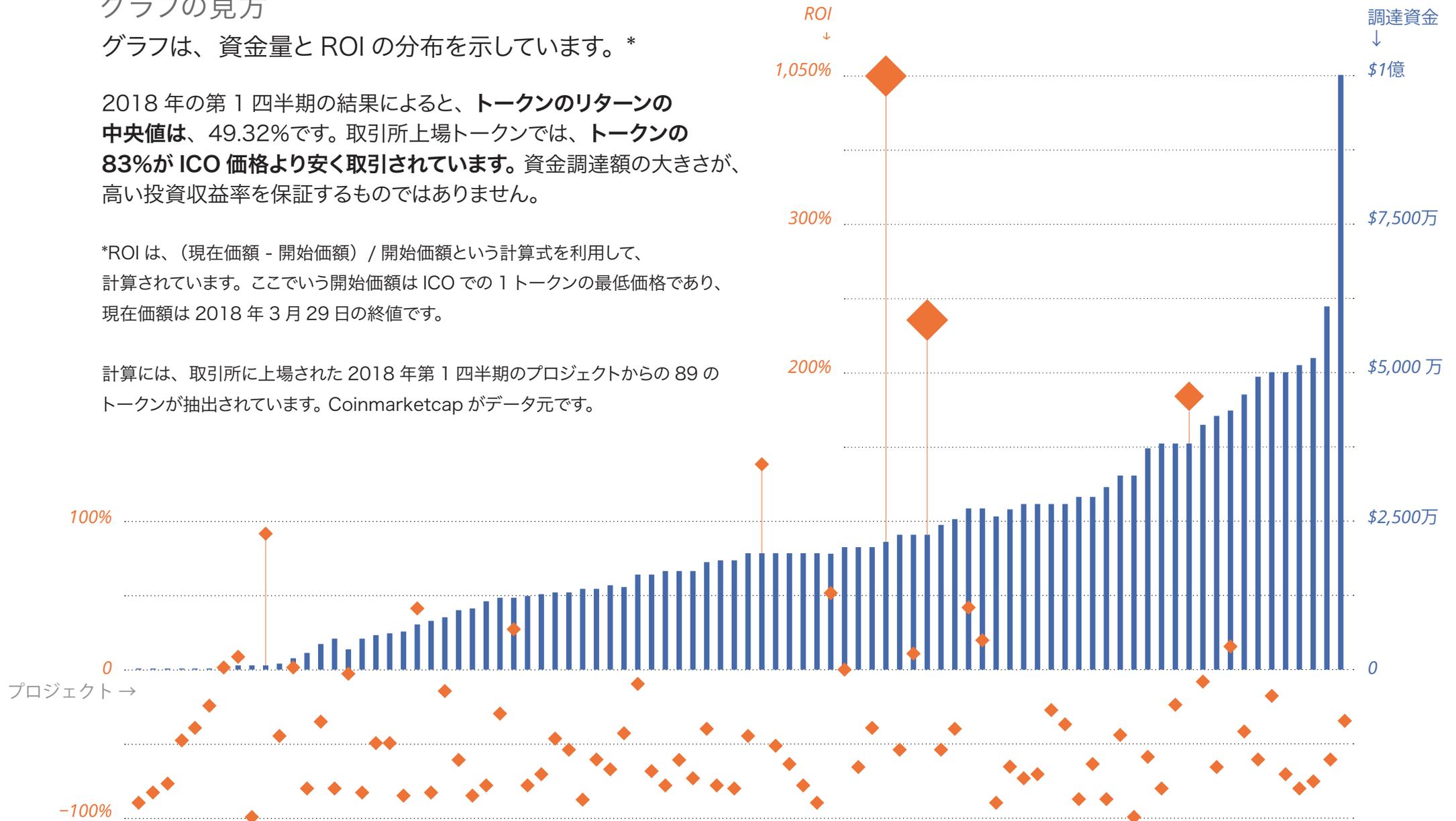
グラフの見方

グラフは、資金量とROIの分布を示しています。*

2018年の第1四半期の結果によると、**トークンのリターン**の中央値は、49.32%です。取引所上場トークンでは、**トークンの83%がICO価格より安く取引されています**。資金調達額の大きさが、高い投資収益率を保証するものではありません。

*ROIは、(現在価額 - 開始価額) / 開始価額という計算式を利用して、計算されています。ここでいう開始価額はICOでの1トークンの最低価格であり、現在価額は2018年3月29日の終値です。

計算には、取引所に上場された2018年第1四半期のプロジェクトからの89のトークンが抽出されています。Coinmarketcapがデータ元です。



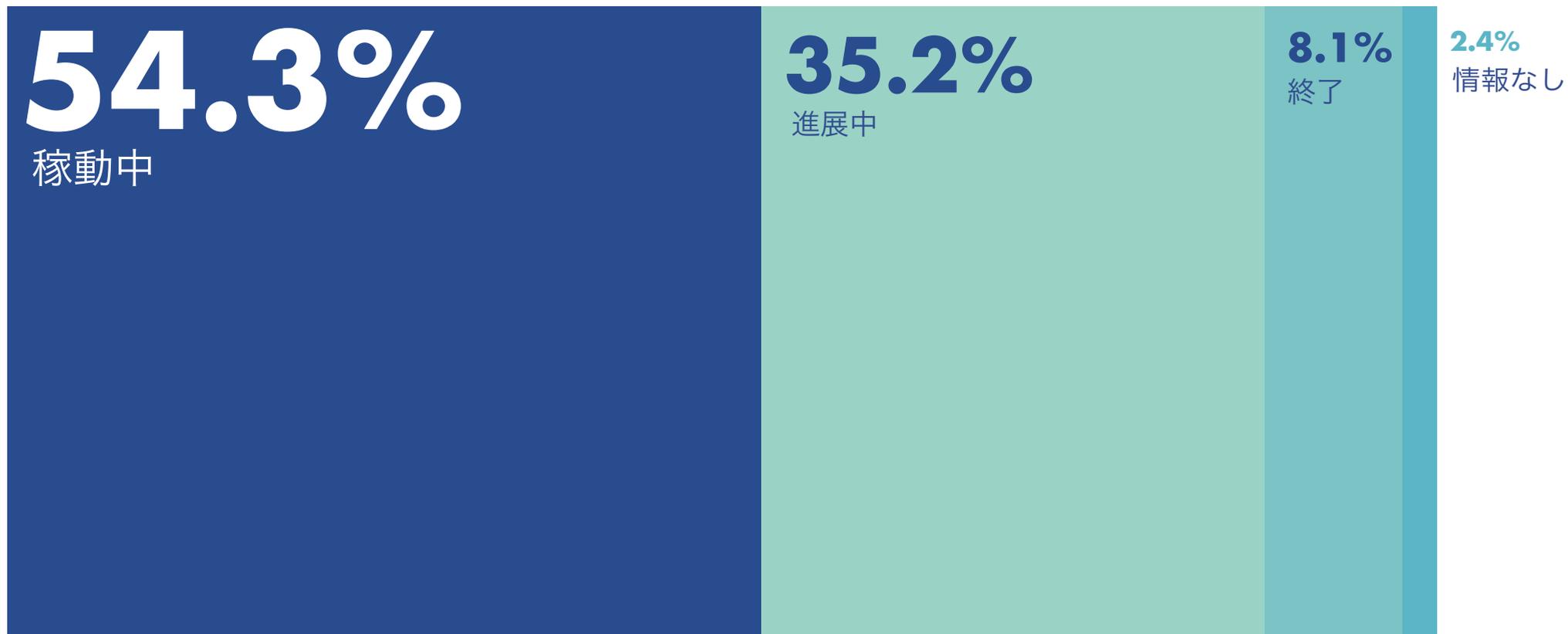
仮想通貨系ファンド

ファンドの数

グラフの見方

分析時の状況によって仮想通貨系ファンドの分布を示しています。

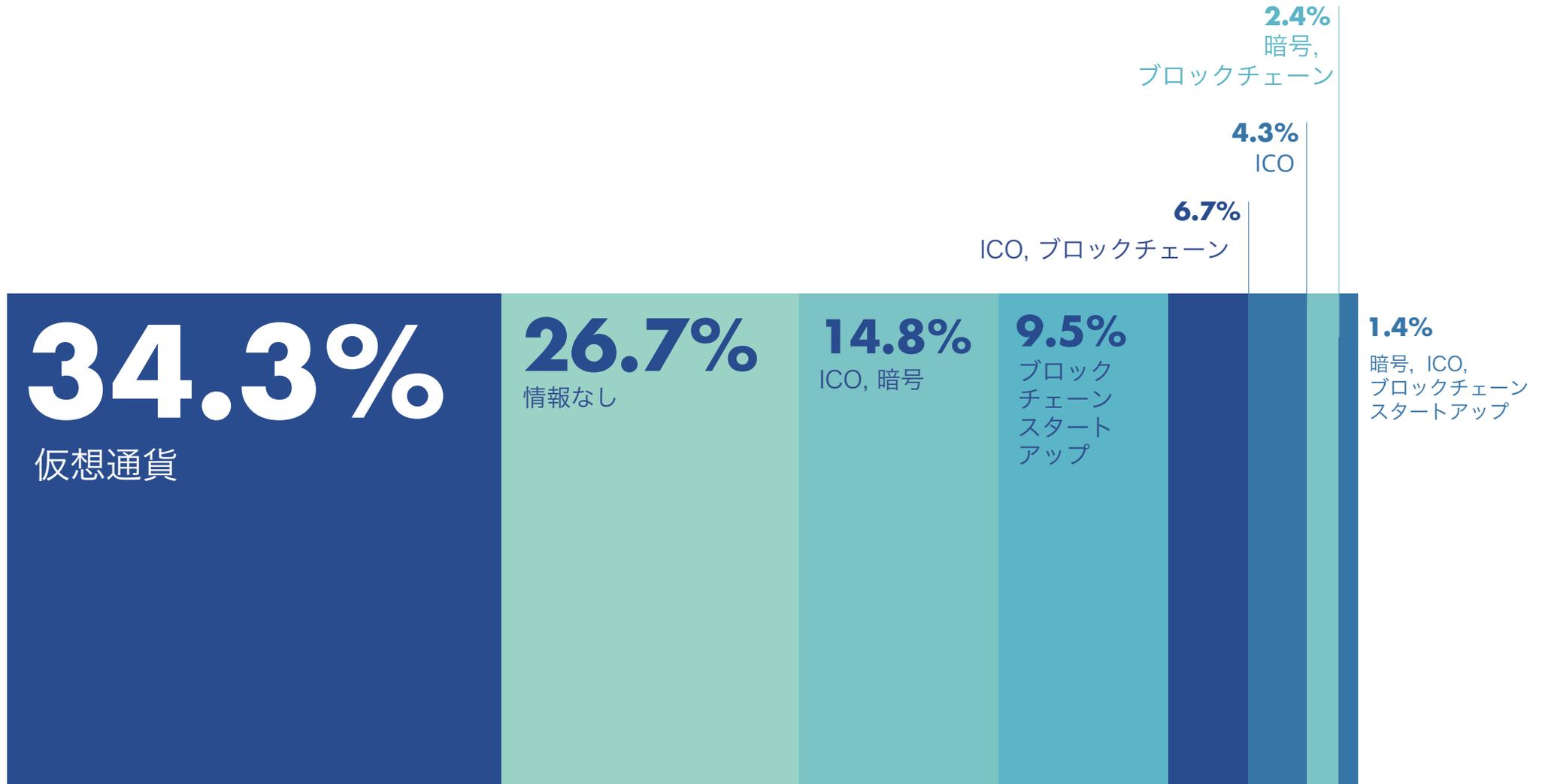
119 ファンドがその経営陣の下で
278 億ドルの資金を集めました。



投資目的別仮想通貨系ファンドの分布

グラフの見方

図表は、分析時の投資目的別仮想通貨系ファンドの分布を示しています。
ファンドの約27%がICOキャンペーンに投資しています。



見通しとコメント

- **ファンドはICOに投資する資金準備は整っているものの、KYCやAML関連組織への対応おろそかなチームがいて、しばしば投資が進まないことが増えています。**
法的リスクを軽減するためには、これらの手続を適切に整備し、高い水準で体系化する必要があります。
- **初期開発なしでICOを実施することを検討しているプロジェクトは、法的な問題に備えて、進めるべきではありません。**
- **ICO後のパフォーマンスは、2017年の結果より劣っています。これは主に、販売される資産価値の欠如(実際にはシステムにトークンが必要ない)とBTCとの直接の関連性(70%のケース)によるものです。**
- **2018年第1四半期のトークンのROIの中央値は、2017年第4四半期のトークンのROIに比べて10%以上下落しました(60.67%から49.32%へ)。**
- **現在の市場調整は、2017年に見られた仮想通貨の「完璧な業績と巨額の収益性」に大きな影響を与えるでしょう。多くの資金は、非効率性が若しくは監督庁との法的問題により閉鎖される可能性があります。**2018年の第1四半期の結果によると、少なくとも9つのファンドの閉鎖が既に確認されています(Crowd Crypto FundとAlpha Protocolが含まれます)。

質問あるいは、市場動向をさらに知りたいですか？ そんな場合は、我々にご連絡下さい。



主たる連絡先：

Mikhail Mironov

パートナーシップ責任者

+31 6 83624781

mikhail@icorating.com

アムステルダム



2次連絡先：

Steven Campbell

セールス&パートナーシップ

マネジャー

+1 646 943 0806

steven.campbell@icorating.com

ニューヨーク



日本語翻訳におけるパートナー：Venture Times

+80 03 5809 2833

info@venturetimes.jp

日本

我々の最新市場週次レポートを同サイト [icorating.com](https://www.icorating.com) で
購読すると、毎週最新の市場ニュースが入手できます。



ICORATING
The Rating Agency for the 100
Market



VentureTimes